

● 演習ワークシート

事例 1

症例：80 歳，男性

銅山で採掘作業に従事していた。

天ぷらを食べたあとにしばしば腹痛を起こすため近医を受診したところ，超音波検査で胆嚢結石を指摘され，当院に紹介となった。肝胆膵外科において腹腔鏡下胆嚢摘出術が計画されている。現在は症状なく，日常生活は支障なく自立している。急いで階段を上ると息切れがあるとのこと。

術前検査で胸部 X 線撮影を施行したところ，胸郭に変形があり，60 年前に結核の手術を受けたことが判明した。

その後の職場検診では結核の治癒が診断されており，再発もないとのこと。

麻酔科医師から結核既往者で胸部 X 線写真に異常がある場合は手順書に従った血液ガス分析が指示されている。

OSCE 使命 1

この事例について，手順書に沿ったうえで動脈穿刺についてのプランを立て，動脈穿刺を実践してください。なお，以下の項目について具体的に検討し実施すること。

- 特定行為対象となる根拠について
- 診療補助を行わせる病状の範囲について

●演習ワークシート

事例 2

症例：75 歳，女性

血尿があり自家用車で救急外来を受診した。

血圧	心拍数
90/45mmHg	100 回/分

救急外来で診察した泌尿器科医から、出血量が多いので脊髄クモ膜下麻酔下に内視鏡下で止血を行いたいと依頼があった。

別の緊急手術に対応している麻酔科医師から TUR 症候群を発症する恐れがないか、通常の末梢静脈血採血による術前血液検査項目に加え、電解質チェックのために手順書に従った血液ガス分析を指示されている。

末梢静脈血採血と直接動脈血採血を同時に行おうかと当初考えたが、もし凝固系に異常があったらと思い、静脈血採血のみを最初に行ったところ以下の検査値であった。

ヘモグロビン	血小板数
7.0 g/dL	4.0 万/ μ L

OSCE 使命 2

この事例について、手順書に沿ったうえで動脈穿刺についてのプランを立ててください。なお、以下の項目について具体的に検討し実施すること。

- 特定行為対象となる根拠について
- 診療補助を行わせる病状の範囲について